

交流耐圧試験装置

Tシリーズ

取扱説明書

—SOUKOU—

本社、工場 〒529-1206 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 215

tel 0749-37-3664 fax 0749-37-3515

東京営業所 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町三友ビル6F

tel 03-3258-3731 fax 03-3258-3974

1. 仕 様

—交流耐圧試験装置—

1) トランス部

仕 様						
型 式	出力電流	容 量	W(mm)	D(mm)	H(mm)	重量(kg)
T-13K15	150mA	1.95kVA	200	200	340	1.8
T-13K20	200mA	2.6kVA	200	230	340	2.0
T-13K30	300mA	3.9kVA	240	240	400	3.0
T-13K50	500mA	6.5kVA	270	240	430	4.0

共 通 仕 様	
入 力 電 圧	T-13K15) T-13K20) 100VAC 50/60Hz T-13K30) T-13K50) 100/200VAC 50/60Hz
出 力 電 圧	0~13kV

2) 操 作 部

仕 様						
型 式	出力電流	容 量	W(mm)	D(mm)	H(mm)	重量(kg)
TT-13K15A	15A	1.5kVA	450	480	185	2.0
TT-13K20A	20A	2kVA	450	480	185	2.2
TT-13K30A	30A	3kVA	450	480	185	2.5
TT-13K50A	25A	5kVA	450	480	370	4.5

共 通 仕 様	
入 力 電 圧	TT-13K15A) TT-13K20A) TT-13K30A) 100VAC 50/60Hz TT-13K50A 200VAC 50/60Hz
出 力 電 圧	0~130V (0~240V)
入 力 電 流 計	0.5/1.0/5/10/25/50A/S 1.0級
出 力 電 流 計	50/100/250/500mA/1A/S 1.0級
出 力 電 圧 計	15kV 1.0級
2 次 電 流 切 換	トランス電流/充電電流/リアクトル電流
タ イ マ ー	0~10分 任意設定

2. 交流耐圧試験装置の試験方法

- 1) 電源ブレーカがOFFになっているか確認して下さい。
- 2) 電圧調整器を左方向に、いっぱいまわし零位置にして下さい。
- 3) 2次電流切換スイッチをトランス電流にして下さい。リアクトルを接続した場合（接続図P-5）は、2次電流切換を測定しようとするレンジに切換て下さい。
- 4) 1次電流計切換を、下記の要領で切換て下さい。
TT-13K15A・TT-13K20A……………25A
TT-13K30A・TT-13K50A……………50A
- 5) 2次電流計切換を、下記の要領で切換て下さい。
TT-13K15A・TT-13K20A……………500mA
TT-13K30A・TT-13K50A……………1A
あらかじめ2次電流がわかっている場合は、そのレンジに切換て下さい。
- 6) トランス部のE端子を接地して下さい。
- 7) 操作部と、トランス部を付属のケーブルにて、接続して下さい。（P-4参照のこと）
外部メーター（精密級のメーター）を接続するときは、 V_1 ・ V_2 に電圧計、 A_1 ・ A_2 に短絡バーをはずして、2次電流計を、接続して下さい。
- 8) タイマーを時間設定して下さい。
- 9) 電源ブレーカを、ONにして下さい。（電源ランプ点燈）
- 10) 試験押ボタンONを押して下さい。（試験ランプ点燈）
- 11) 電圧調整器を、右方向に徐々にまわし、規定の電圧値まで上昇させて下さい。
この操作は、被試験物の状態を、充分注意して行って下さい。（本器トランス出力部を高圧検電器で高圧が発生しているか確認して下さい。）
- 12) 規定の電圧値まで上昇させ、タイマーON押ボタンを押して下さい。
- 13) 必要に応じて、1次、2次電流計を切換て下さい。
- 14) 規定の時間が経過すると、ブザーがなります。ブザーがなれば電圧調整器を零の位置に戻して、試験押ボタンOFFを押して下さい。
- 15) 電源ブレーカを、OFFにして下さい。
- 16) 検電器にて、無電圧を確認して、試験回路の接続を外して下さい。

注意事項

1) 接地は必ず取って下さい。

2) 過電流しゃ断は、下記の様になっています。

TT-13K15A 165mA

TT-13K20A 220mA

TT-13K30A 330mA

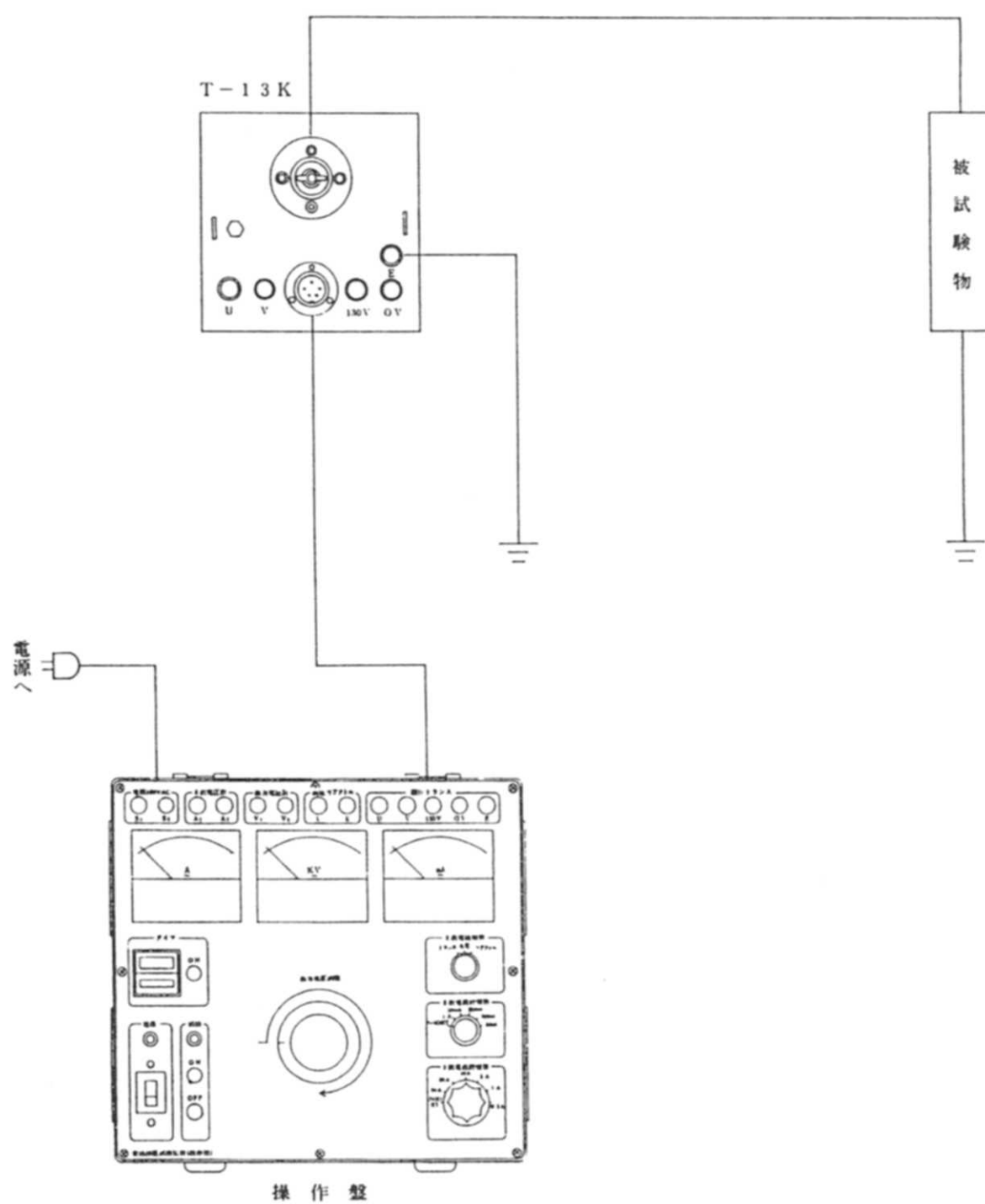
TT-13K50A 550mA

3) 過電流しゃ断装置はついておりますが、トランスの定格出力電流を越えないように注意して下さい。

4) 過電流のため試験がOFFになった場合は、一度電源ブレーカをOFFにして、試験を再度行なって下さい。

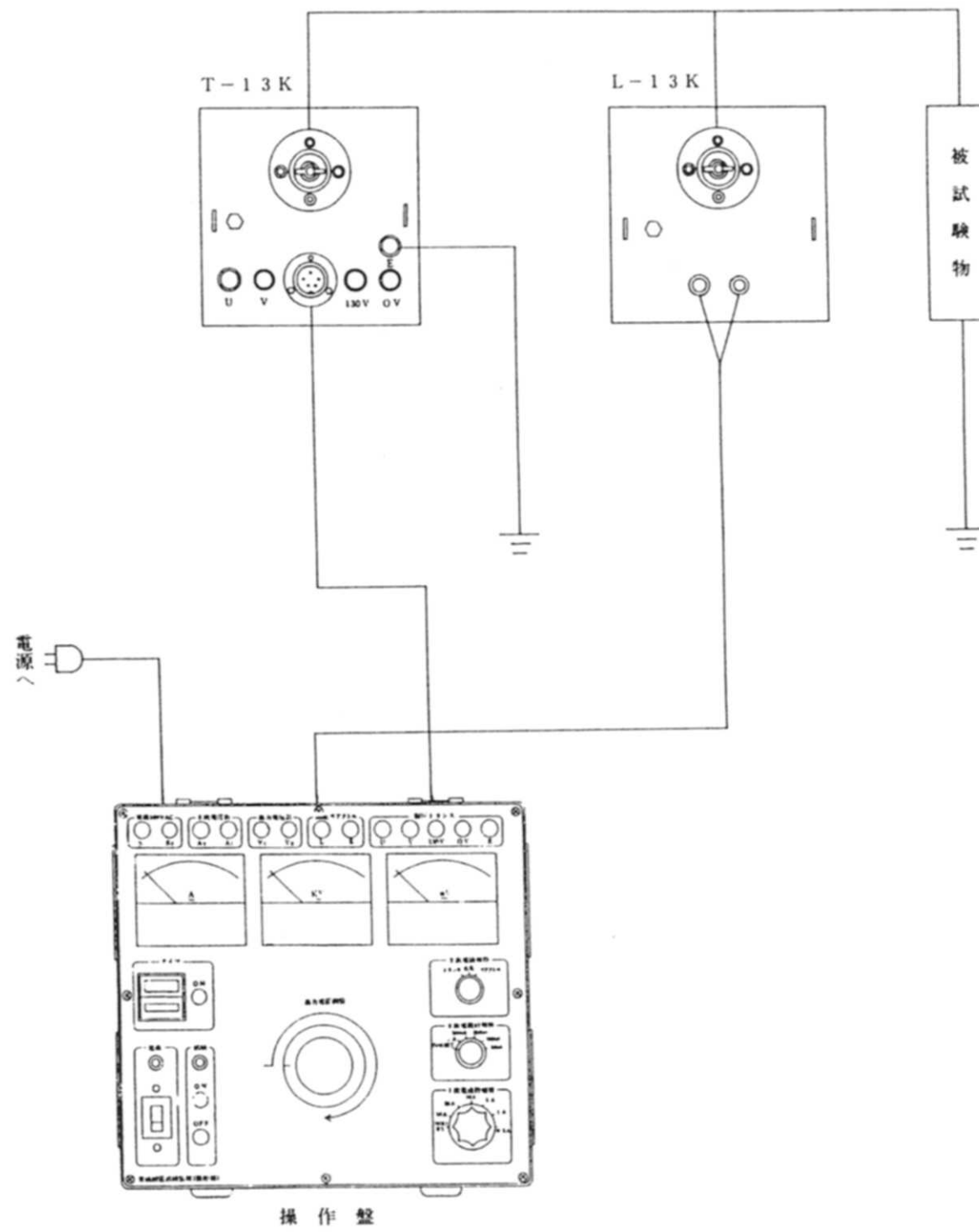
3. 接 続 図

3-1 —交流耐圧トランスのみ—



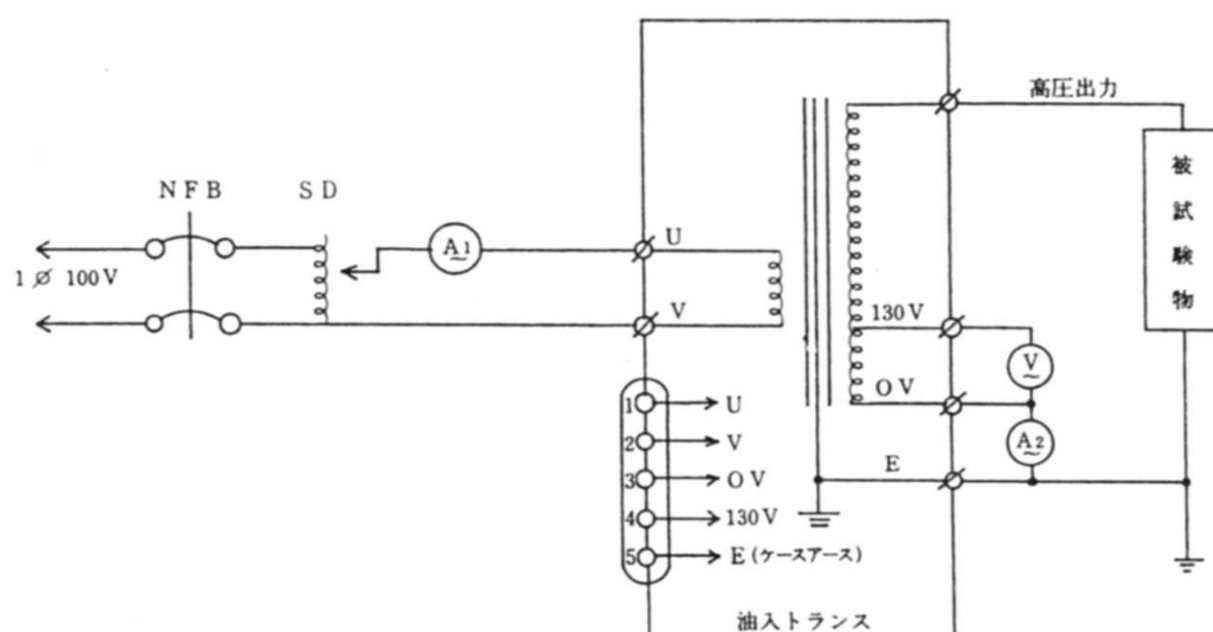
- ※ T T-13 K50・T-13 K50の場合は端子接続となります。
- ※ コネクターと端子と一度に使用しないで下さい。

3-2 リアクトルを併用させる場合



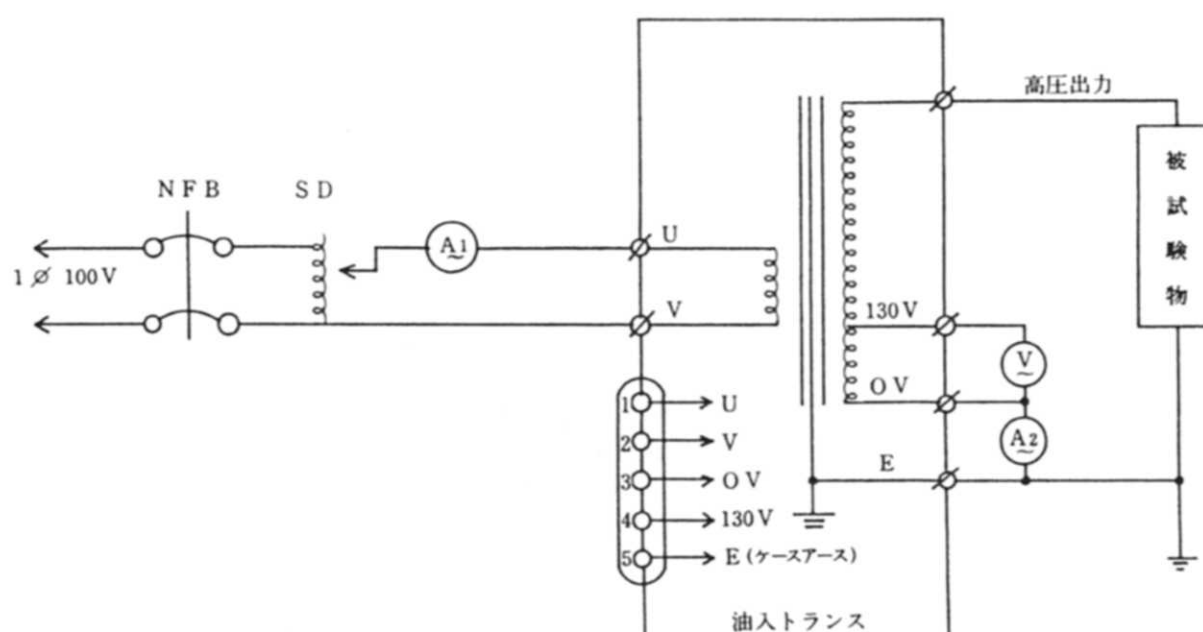
4. トランス部回路図

4-1 —T-13K15—



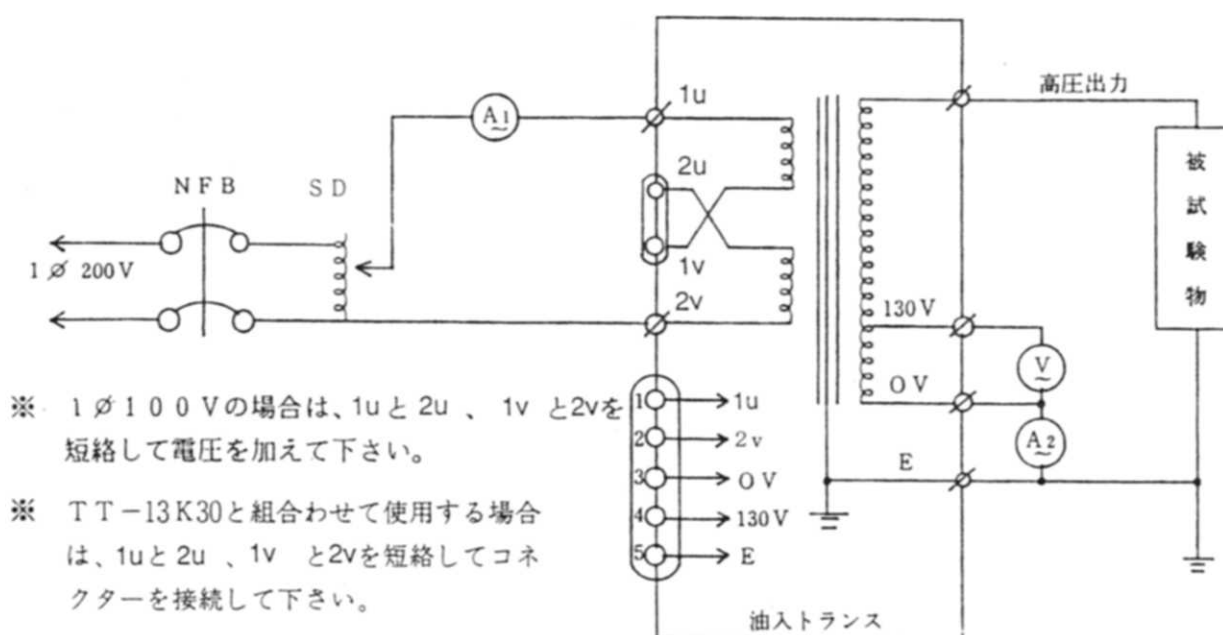
注意事項

- 1) 入力電圧は、単相100Vです。
- 2) 巻数比は、入力1：出力100（入力100Vで、出力10kV）
測定1：出力100
- 3) 電圧測定は、1次U－V間で103.5Vで出力10.35kV
130V－OV間で103.5Vで出力10.35kV
- 4) 定格は、150mAで30分定格
- 5) 封印ビスは、使用时ゆるめて使用後しめて下さい。
使用しない時でも、夏冬には1度ゆるめて下さい。
- 6) メタルコンセントと、ターミナルとは並列に接続されています。
- 7) OV－E端子間に出力電流計を接続して下さい。
出力電流計を接続しない場合はOV－E端子間を必ず短絡して下さい。



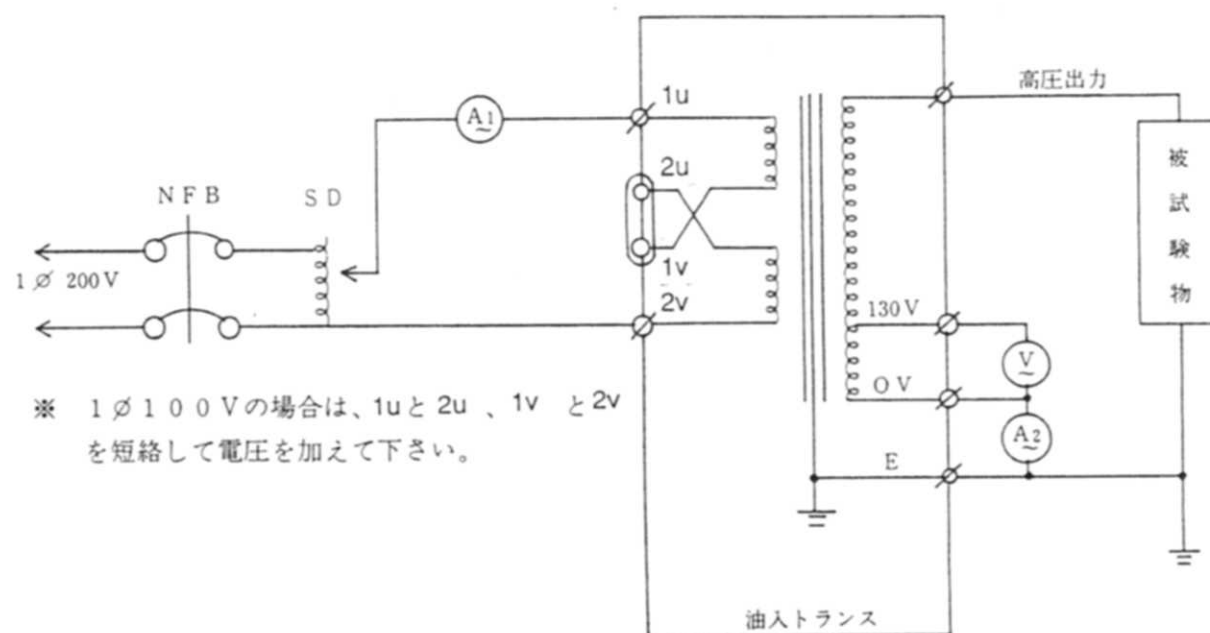
注意事項

- 1) 入力電圧は、単相100Vです。
- 2) 巻数比は、入力1：出力100（入力100Vで、出力10kV）
測定1：出力100
- 3) 電圧測定は、1次U-V間で103.5Vで出力10.35kV
130V-OV間で103.5Vで出力10.35kV
- 4) 定格は、200mAで30分定格
- 5) 封印ビスは、使用时ゆるめて使用後しめて下さい。
使用しない時でも、夏冬には1度ゆるめて下さい。
- 6) OV-E端子間に出力電流計を接続して下さい。
出力電流計を接続しない場合はOV-E端子間を必ず短絡して下さい。



注意事項

- 1) 入力電圧は、単相100V(200V)です。
- 2) 巻数比は、入力1：出力100(入力100Vで、出力10kV)
測定1：出力100
- 3) 電圧測定は、1次1u-1v間で103.5Vで出力10.35kV
130V-0V間で103.5Vで出力10.35kV
- 4) 定格は、300mAで30分定格
- 5) 封印ビスは、使用时ゆるめて使用後しめて下さい。
使用しない時でも、夏冬には1度ゆるめて下さい。
- 6) 0V-E端子間に出力電流計を接続して下さい。
出力電流計を接続しない場合は0V-E端子間を必ず短絡して下さい。

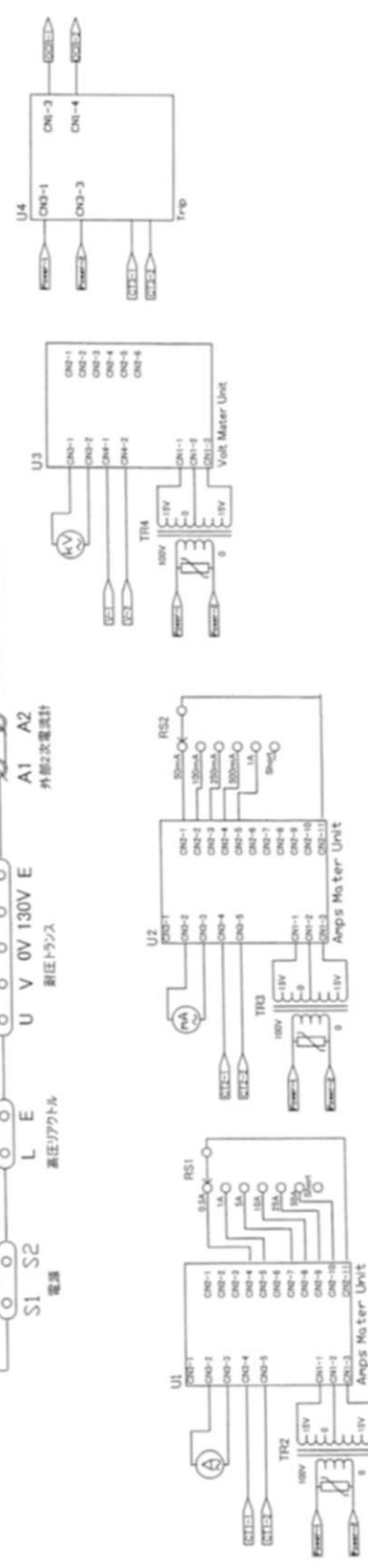
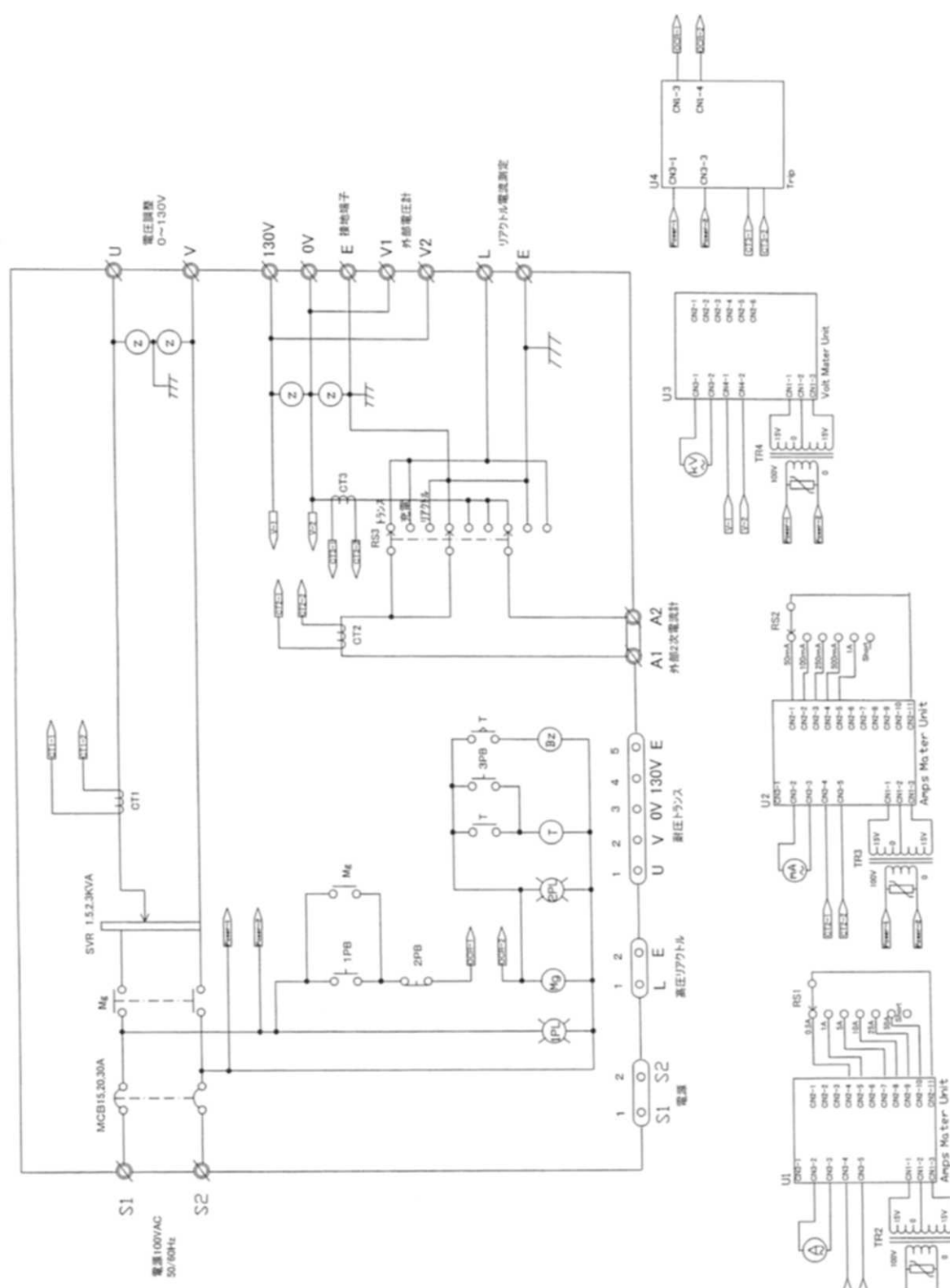


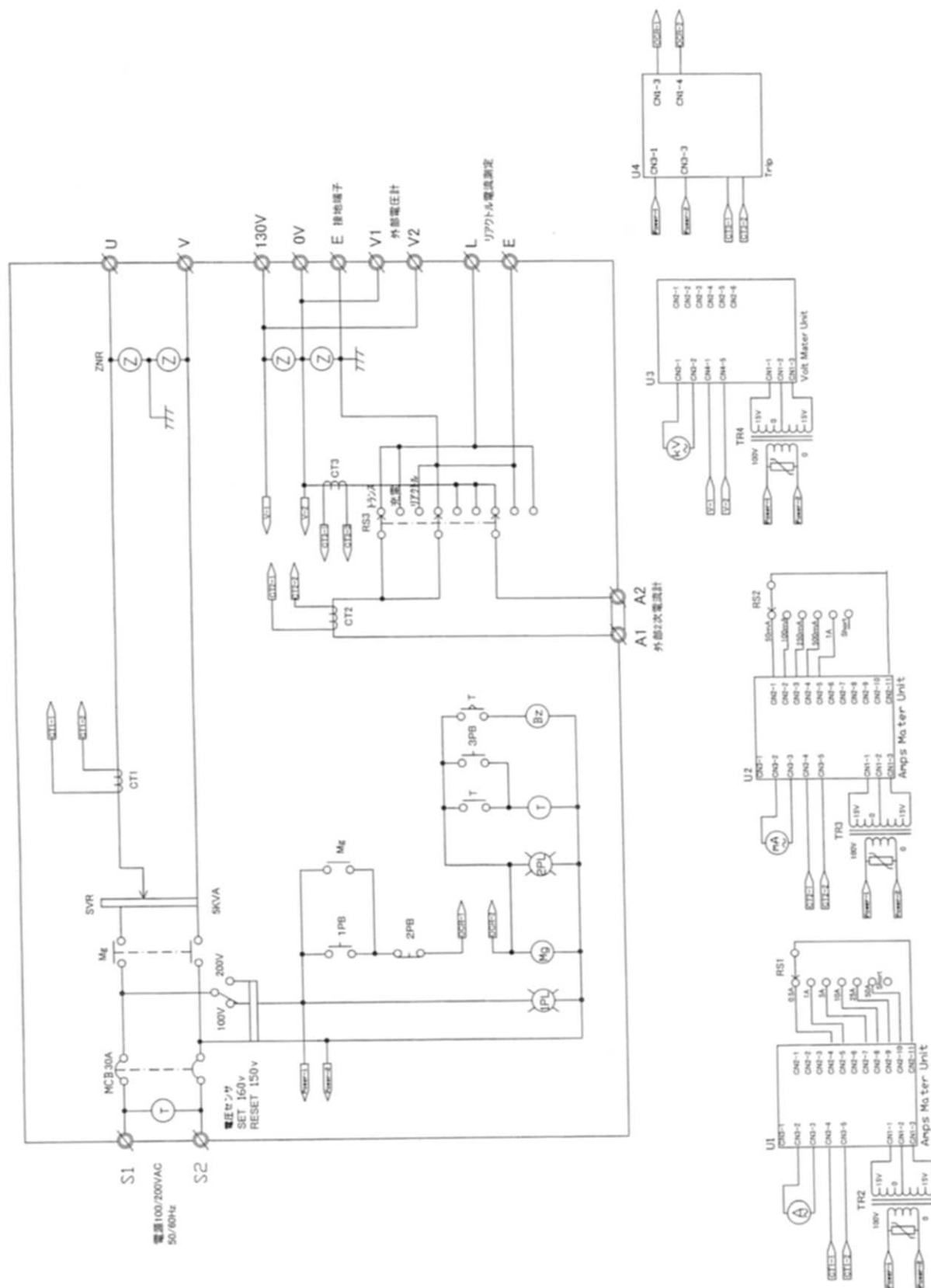
注意事項

- 1) 入力電圧は、単相100V(200V)です。
- 2) 巻数比は、入力1:出力100(入力100Vで、出力10kV)
測定1:出力100
- 3) 電圧測定は、1次1u-1v間で103.5Vで出力10.35kV
130V-OV間で103.5Vで出力10.35kV
- 4) 定格は、500mAで30分定格
- 5) 封印ビスは、使用时ゆるめて使用後しめて下さい。
使用しない時でも、夏冬には1度ゆるめて下さい。
- 6) OV-E端子間に出力電流計を接続して下さい。
出力電流計を接続しない場合はOV-E端子間を必ず短絡して下さい。

5. 操作部回路図

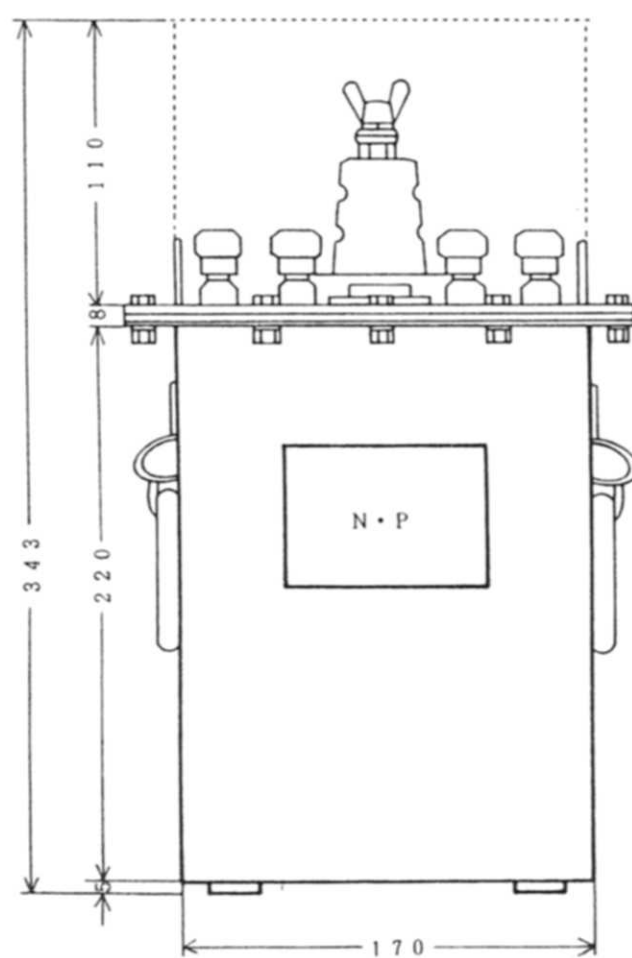
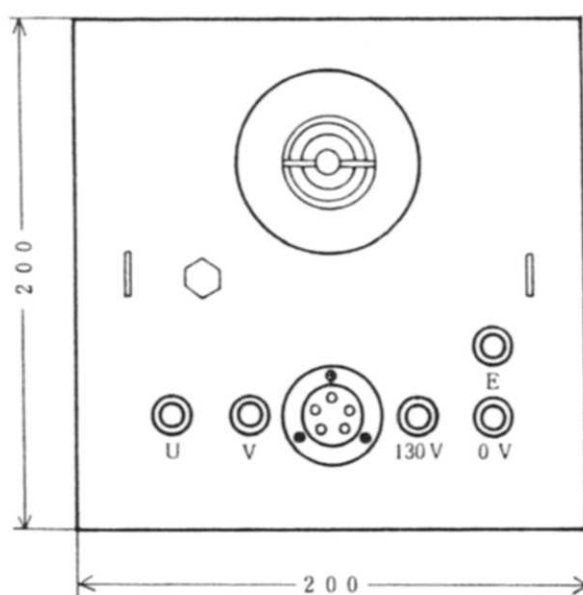
5-1 — TT-13K15A、TT-13K20A、TT-13K30A —

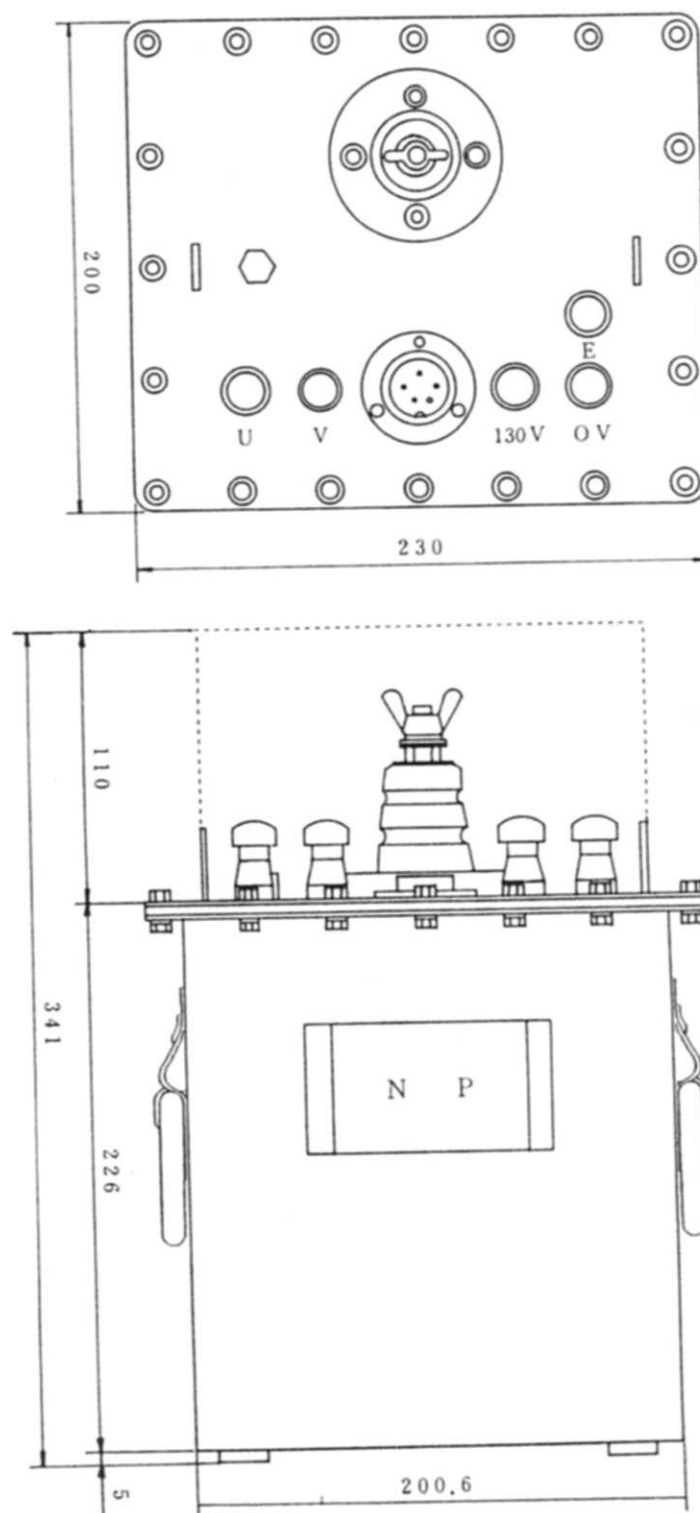




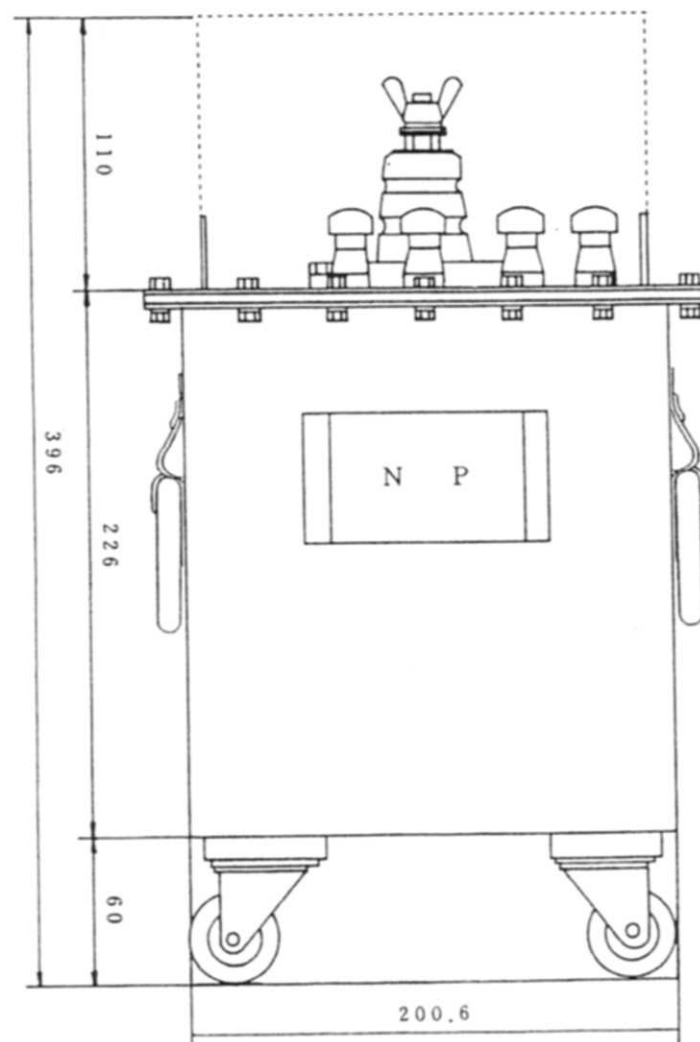
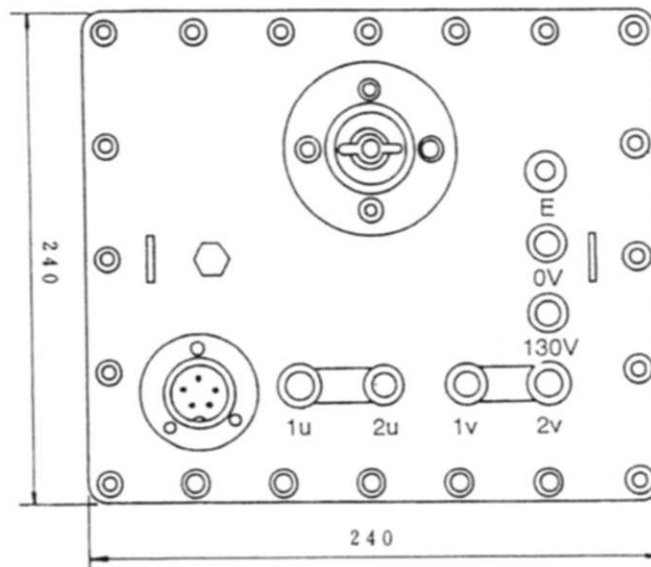
6. トランス部外形寸法

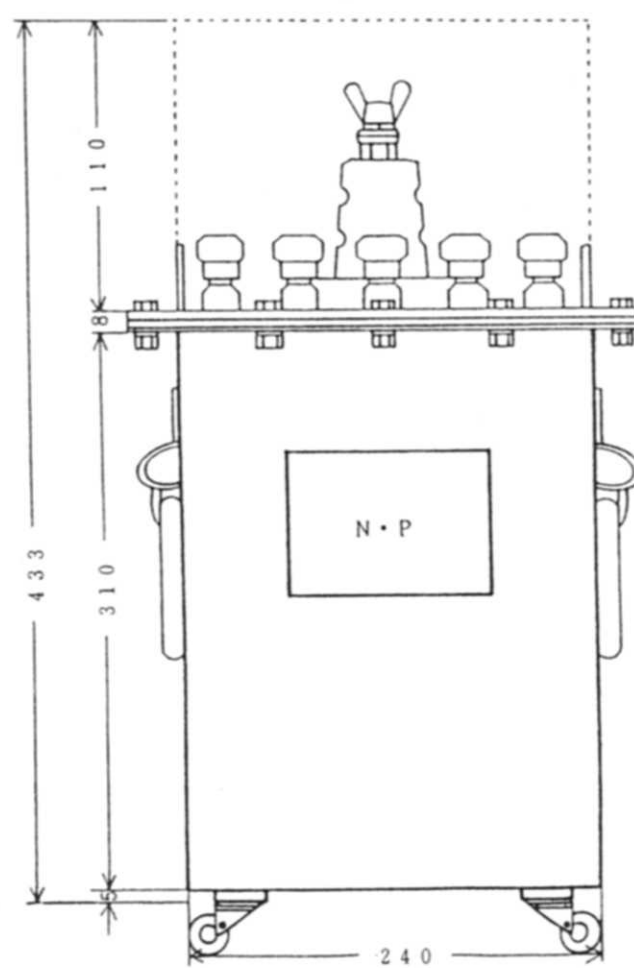
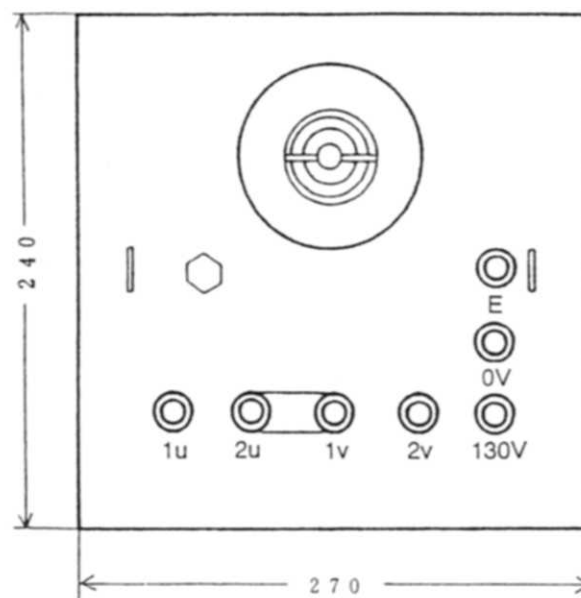
6-1 —T-13K15—



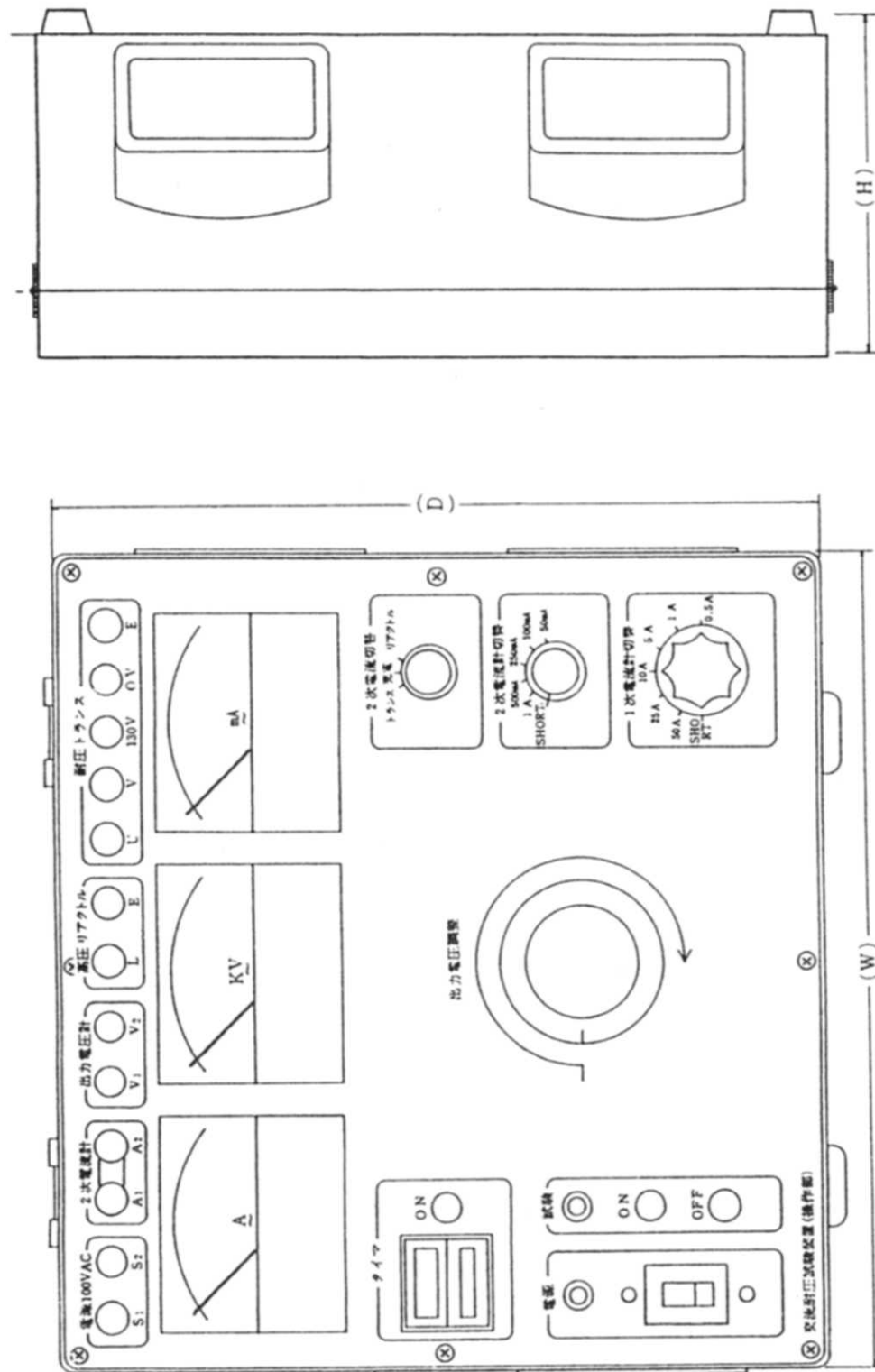


※ ()はT-13K50の場合





7. 操作部外形寸法



型 式	W(mm)	D(mm)	H(mm)
TT-13K15A	450	480	185
TT-13K20A	450	480	185
TT-13K30A	450	480	185
TT-13K50A	450	480	370

